

**作者は小学5年の 森下 咲菜 さん**  
**曾祖父のシベリア抑留体験を聞いて生まれた詩**  
**ウクライナ「ただいま」を言えない人がいっぱいいる**

いってらっしゃい

「いってらっしゃい。」

いつも聞くこの言葉

いろんな家から聞こえてくる

外に出る時 聞こえてくる

なぜ この言葉を使うのか

それは 大切な人を思っているから

大切な人への言葉のお守りとして

送る人を守りたいから

でも戦争の時

「ただいま。」を言えない人がいる

戦争中も

「ただいま。」を待っている人がいる

だからこそ

戦争の無い世界を作ろう

この詩は 2022 年度 鈴鹿市児童詩コンクールで優秀作品に選ばれた。書いたのは、鈴鹿市立河曲小学校5年生の 森下 咲菜(さな) さん(10)。放課後、小学校を訪ね、どのようにしてこの詩が生まれたのか、聞かせてもらった。

「ひいおじいちゃんはシベリアに抑留されていたんだそうです。無事、帰ってこられた。その体験を娘であるおばあちゃんから聞かせてもらっていました」

曾祖父は故人となったが、津市に住む祖母は73歳でまだ元気。聞いた曾祖父のシベリアでの体験は・・・

働き方でパンの大きさが違った。よく働く者は大きく、働かない者は小さい。賭け事をしてパンを賭けた。よく負けたが、勝てばパンが二



森下 咲菜 さん

つになる。賭けは止められなかった。冬は寒い。マスクをつけると自分の息で眉毛が凍る。目が開けられなくなる。自分は帰ることができたが、友だちは帰還できなかった。

そのとき、咲菜さんは「**ダモイ**」という言葉を使った。**ロシア語で「家へ」「故郷へ」「故国へ」**という意味だ。どうしてそんな言葉を知っているのか。帰還を果たせず病死した、二宮 和也 主演のシベリア抑留の映画「ラーゲリより愛を込めて」を家族で見て知ったという。

「ウクライナでは『ただいま』を言えない人がいっぱいいる。悲しい。昔の日本がそうだった。ひいおじいちゃんも、もしかしたら命を失っていたかもしれない」

「国同士のけんかを止めさせる。私はただの小学生だからできることは少ないが、次はポスターで訴えたい」。そう結んだ。 (文責：竹内 宏行)

## **「平和への祈り展」 参加を辞退 小学生の自衛隊体験催事を市教委が後援 遺憾の意を示すため**

私たち「**鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会**」は毎年開かれている鈴鹿市、鈴鹿市教育委員会主催の「**平和への祈り展**」への参加を辞退しました。小学生の自衛隊体験という鈴鹿青年会議所の催事（P3 参照）を鈴鹿市教育委員会が後援したことに対し、遺憾の意を示すためです。

鈴鹿青年会議所の募集チラシによりますと、「陸上自衛隊入隊3days」と銘打って、7月28日から30日まで、陸上自衛隊久居駐屯地で、鈴鹿市内の小学4～6年生を対象に2泊3日の入隊体験。施設見学のと、応急救護体験、水鉄砲バトル、地図の読み方、戦闘糧食体験、秘密兵器リアル車両体験などの訓練が載っています。鈴鹿青年会議所は毎年、フロンティアアカデミーと称して自然体験などの活動を実施。31回目となる今回は自衛隊にしたといいます。この催事を市教委が後援し、募集チラシが市内の全小学校に配られました。

当会が後援の事実を知ったのは7月12日。いかなる理由があろうと、戦争に備える組織である自衛隊に小学生が入隊体験する催事を市教委が後援することはおかしいと考え、遺憾の意を示すため、7月22日、23日に迫った「平和への祈り展」への出展を辞退することにしました。

当会は戦争遺跡を見ることで、二度と戦争を起こしてはならないと感じ、平和の尊さを知ることが目的としています。小学生の自衛隊入隊体験は本会の目的と著しく乖離します。戦前、日本が戦争への道をつき進んだ際、そのつど歯止めをかけるべき時に黙認してしまったことで結局、悲惨な破局に至りました。その歴史を思うとき、今回の事態を黙って見過ごすことはできませんでした。

せっかくの平和の催しである「平和への祈り展」への参加を辞退したことに、会員の中から批判もありました。参加辞退が遺憾の意を示す最善の手段だったのかどうか、もう少し熟慮が必要だったかも知れません。市教委が二度とこのような後援をしないことを願いつつ、来年は「平和への祈り展」に参加したいと考えています。 (文責：竹内 宏行)



第31回  
summer.2023

# フロンティアアカデミー

## 陸上自衛隊入隊 3days

【協力】陸上自衛隊 三重県地方協力本部 四日市地域事務所  
【後援】鈴鹿市教育委員会

7/28・29・30  
fri. sat. sun.

# 乗り越えられない壁はない。



協調性

積極性

達成感

鈴鹿市内の小学生 32名募集

## 4・5・6年生

7/15 sat. 10:30~12:00

事前説明会 鈴鹿市社会福祉センター

★自己紹介 ★チーム旗づくり

7/28 fri.(1日目)

1日目 入隊式・生活の心得

9:30 集合 鈴鹿市社会福祉センター→久居駐屯地

- ★駐屯地施設見学
- ★自衛隊の活動、任務を学ぶ
- ★基本教訓、自衛隊の一員になろう

7/29 sat.(2日目)

2日目 サバイバル!君は生き残れるか!

- ★誰かを助けるために!応急救護体験
- ★プロに学ぶロープワーク
- ★水鉄砲バトルで全力疾走
- ★道を切り開く!地図の読み方
- ★炊事車で作る自衛隊カレー

7/30 sun.(3日目)

3日目 修了式・踏み出そう新しい1歩!

- ★戦闘糧食体験
  - ★学んだスキルでチーム対抗レース
  - ★自衛隊の秘密兵器!リアル車両体験
- 久居駐屯地→鈴鹿市社会福祉センター 15:00解散

※上記プログラムは変更になる場合がありますのでご了承ください

JCI Suzuka Junior Chamber International SUZUKA

### 一般社団法人 鈴鹿青年会議所

〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町816 鈴鹿商工会議所会館 3階  
TEL 059-382-6288 FAX.059-382-3550 E-mail:suzukajc@nifty.com



青年会議所は日本で一番SDGsを推奨している団体です



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 陸自イベント 鈴鹿市教委が後援

陸上自衛隊久居駐屯地（津市）を会場に鈴鹿青年会議所（J.C）が今月下旬に計画する小学生向けの体験合宿イベントを鈴鹿市教委が後援し、案内チラシを学校経由で対象学年の四、六年生に配っていたことが分かった。自衛隊に絡む催しを市教委が後押しすることに戸惑う保護者もあり、共産党市議団は市教委に後援の取り消しを求めている。市教委は「後援は規定にのっとり適切に判断した」とし、問題はないとの姿勢を示している。

（片山健生）

## J.C 児童にチラシ配布



## 戸惑う保護者も

イベントは鈴鹿J.Cのフロンティアアカデミー。「陸上自衛隊入隊3days」と銘打ち、児童らが二十八日から二泊三日の日程で、久居駐屯地で過ごしながら施設や装備品を見学したり、応急救護など多彩な活動を体験したりする。定員三十二人で参加費無料。鈴鹿J.Cによると、フロンティアアカデミーは青少年の健全育成を目的に原則、毎年の夏や秋に自然体験などの活動を日帰りや泊まりがけで実施している。

鈴鹿青年会議所が企画し、鈴鹿市教委が後援した自衛隊合宿体験イベントのチラシ。各小学校を通じて児童らに配られた

三十一回目の今年は低予算でできる泊まりがけの企画を模索する中、協力が得られる自衛隊に決めたという。

市教委によると、六月に後援の申請を受け、要綱で対象外と定める「売名や会費勧誘などを目的とする事業」ではないとして承認した。後日、対象学年の全児童数に当たる五千枚余のチラシが鈴鹿J.Cから届き、全三十校に転送。各校長の判断で児童に配った。

鈴鹿J.Cが独自に作製したチラシには「入隊式」「戦闘糧食」「自衛隊の秘密兵器」などの文言が並ぶ。「サバイバル！君は生き残れるか！」と問いかけ「自衛隊の一員になる」とこのメッセージもある。小学四年の男子児童が学校から持ち帰ったチラシを目にした母親（四〇）は「子どもは先生が薦めるものを絶対的に信頼している。さまざまな見方がある自衛隊の体験イベントを学校経由で紹介するなんてあり得ない」と市教委を批判する。

鈴鹿J.Cが独自に作製したチラシには「入隊式」「戦闘糧食」「自衛隊の秘密兵器」などの文言が並ぶ。「サバイバル！君は生き残れるか！」と問いかけ「自衛隊の一員になる」とこのメッセージもある。

小学四年の男子児童が学校から持ち帰ったチラシを目にした母親（四〇）は「子どもは先生が薦めるものを絶対的に信頼している。さまざまな見方がある自衛隊の体験イベントを学校経由で紹介するなんてあり得ない」と市教委を批判する。

鈴鹿J.Cの担当委員長（三〇）は「子どもの挑戦する心を引き出すために文言を選んだ。特段の思想があったわけではない」と説明。市教委への後援申請は「過去にも学校から配布してもらっており、今回も甘えた」と振り返った。

共産党の石田秀三市議は「チラシでは自衛隊を軍隊と強調した上で体験に誘っている。民間がやる事業を止める権限はないが、市

委が後援するのは適切でない。チラシが届いた段階で立ち止まるべきだった」と苦言を呈する。

西村佳代子教育指導課長は「チラシのとらえ方は人それぞれ。戦争を連想する人がいるかもしれないが、保護者からの苦情が学校に入ったとの報告はない。参加は強制ではなく、各家庭の判断」と話している。鈴鹿J.Cによると、定員を超過す五十人ほどの応募があったという。



# 鈴鹿市「平和への祈り展」

## 市民実行委が参加辞退

### 市教委の陸自行事後援「遺憾」

陸上自衛隊久居駐屯地（津市）で小学生が体験合宿する民間イベントを鈴鹿市教委が後援したことに対し、市と市教委の主催で二十一日から始まる展示イベント「平和への祈り展」の協力団体「市民実行委員会」が、「遺憾の意を示すため」として参加を辞退したことが分かった。

市民実行委員会は「九条の会すずか」と鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会（市民の会）で構成する。平和の尊さを訴える目的で関連資料を多彩に紹介する「祈り展」に賛同して毎年、市内の戦争遺跡の写真パネルや地図、千人針などの資料を提供してきた。今年は三十点を出す予定だった。

申し入れは十四日付。九条の会すずかの稲垣恵美子代表世話人（左）は二十一日、取材に「世界で戦火があり、平和を強く訴えていくべきこの時期に、祈り展を主催しながら、陸自関連のイベントを後援する市教委の神経が理解できない」と辞退の理由を語った。

市民の会の竹内宏行共同代表（右）は「子どもを預かる市教委が、自衛隊に入隊

体験する事業を後援するのは不適切」と批判。「言うべきことを言わなかったため、先の大戦で日本が破局に至った歴史を思えば、見過ごせない」と話した。

体験合宿イベントは鈴鹿

青年会議所の主催で二十八～三十日に実施する予定。募集対象となる四～六年生の児童数に当たる五千枚余の案内チラシが六月に市教委経由で市内二十校に渡り、子どもらに配られた。

今年の祈り展は、日赤県支部から提供されたウクライナでの人道支援活動の写真や救援物資など十九点を含む約百七十点が並ぶ。二十三日まで。

2023. 7. 22 中日新聞記事

陸上自衛隊久居駐屯地（津市）で体験合宿する小学生向けの民間イベントを鈴鹿市教委が後援し、募集対象の四～六年生に学校経由で案内チラシを配っていたことに驚いた。配布したのは五千枚余。災害救助の役割も担う自衛隊への理解を深める事業を、民間が企画するのはいいだろう。ただ、市教委が後押しし、教えられる側の児童らに広報するのは疑問だ。

「いろいろな見方がある自衛隊

### 波の詩 うた 流されない

のイベントのチラシを、博物館の体験会など同列のものとして配られた。違和感を感じた。四年の男児の母親（四）の言葉に、四人の子を持つ私も同感だ。

救いは、実際に配るかは各校長に任せられたこと。私の小学五年の長女は渡されていまいようだ。主催団体によると、応募者がいない学校が複数あった。組織に流されない冷静な判断が教育現場にあった、と信じていたい。

（片山健生）

2023. 7. 25 中日新聞記事



# 「戦争なんか大きらい! 平和のメッセージ展 2023」 『鈴鹿にも戦争があった』

九条の会すすか主催【戦争なんか大きらい! 平和のメッセージ展 2023】鈴鹿市立図書館視聴覚室を会場に、8月17日～20日、3年ぶりに開催されました。市民による、書・絵・写真・絵手紙などの作品展示、戦争や平和に関する絵本コーナー・紙芝居などがありました。我々戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会も、協力参加として『鈴鹿にも戦争があった』コーナーに写真パネル展示をしました。会場には、大人だけでなく、子どもたちも多く見に来ており、自宅のそばに軍の施設があることを見つけたりと、一生懸命に見ていたのが印象的でした。

また、19日午後には、朗読劇【むかし鈴鹿にこんなことがあった】と題して、戦時中の体験の語りもありました。続いて、桐生による【鈴鹿にも戦争があった】と題して、音楽から鈴鹿の戦跡調査に至る活動をお話させていただきました。以前から、音楽に関係する仕事をしているのに、なんで戦争遺跡を調べるようになったの? と聞かれることが多いことなどを九条の会 稲垣代表 と話していて、今回講演をすることになりました。「歌にまつわる背景を調べていくとそこには!」「軍歌と言われた尋常小学唱歌」「遺跡を調べるのは男だけ?」などをテーマに話し、最後は今も残る戦跡などを紹介して締めくくりました。知り合いにちょこっと話したことはあっても、今回ほど自分の活動をまとめて、お話しすることはなく、聞いていただいた皆様に、桐生の活動の一部でも伝わっていると嬉しいです。



## イベントの ご案内

～亀山列車銃撃事件 朗読劇 『8月2日のこと・・・』が初披露!～

12月2日(土)10時～15時、鈴鹿市男女共同参画センター ジェフリーすすかにて、【ジェフリーふえすた 2023】が開催されます。研修室2での【九条の会すすか】イベントの中、亀山列車銃撃事件 朗読劇『8月2日のこと・・・』が、11時と13時に初披露!是非聴いて下さいね。(文責:桐生 小百合)





## 市制 81 周年記念 戦争遺跡講演会と資料展の開催

今年も 81 回目の市制記念日【1942(昭和 17)年 12 月 1 日】がやってきます。市民の会が組織されて 14 年。毎年、市制記念日の前後には鈴鹿市の誕生と深い関係がある鈴鹿海軍工廠や鈴鹿海軍航空隊などの旧軍施設をテーマに、各所で講演会や資料展を実施してまいりました。

今年は『鈴鹿海軍工廠』を採りあげ講演会等を次のとおり開催いたします。講師からは海軍工廠にまつわる貴重な資料をお借りすることができました。参加者の皆さんと鈴鹿市の戦中・戦後のくらしやその当時の歴史を振り返ってみたいと思います。

お友達等を誘って是非、会場に足を運んでいただきますようお願いしております。

◎ 日 時 : 12 月 9 日(土) 午後 1 時半～(開場:午後 1 時)

◎ 場 所 : 男女共同参画センター ジェフリーすずか 研修室 1(鈴鹿市神戸 2 丁目 15-18)

◎ 講 師 : 浅尾 悟 さん (元中学校教諭)

最近の著作: 鈴鹿市の戦争遺跡～鈴鹿市の軍施設の全容～(2021.9)

◎ 演 題 : 鈴鹿市の発足と鈴鹿海軍工廠



鈴鹿海軍工廠銘板(大池町)

この附近一帯は 昭和 17 年から 20 年まで鈴鹿海軍工廠の置かれていた所である  
その後 一時この地の大部分は農地に転用され 食糧の増産が図られたが 経済の伸展  
によつて 次々と大工場が進出し 地域の急速な発展を促したのである  
こうした経過を顧みるとき かつての鈴鹿海軍工廠がこの地域の今日の発展の礎といえ  
よう

この事実を永く記憶にとどめるため 当時の正門の銘板をここに残す

昭和 50 年 8 月 鈴廠会 【銘板の設置説明】



## 鈴鹿市立石薬師小学校で出前授業

7月5日(水) 5年生が平和学習を行いました。亀山在住の岩脇さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、「鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会」の方にも来ていただき、石薬師地区で最近発見された戦争遺跡のことをはじめ、いろいろなことを教えていただきました。5年生のみんなは、こういった戦争にかかわったものが自分たちの身近に残っていることにおどろき、遠い出来事であまり実感がなかった戦争のことを知り、平和のことについて考えるいい機会になったようですね。

※石薬師小学校 HP より 転載許可済み



過去二年連続、平和学習の座学と現地見学を6年生を対象に行なってきた石薬師小学校。今年は7月5日(水)に、5年生対象に座学のみで、行いました。講師は、当会会員、岩脇彰さん。

授業の内容は、石薬師小学校の近くにあった、陸軍第一気象連隊の航空写真や今も石薬師地区に残る戦争遺跡の説明、そして、鈴鹿市内全体にあった軍隊などの説明へと進みました。

クイズ形式を取り入れた説明に、どんどん引き込まれる子どもたち。1942年12月1日に開隊した陸軍第一気象連隊と同じ日に生まれたのは何か？ に、マッカーサー・佐佐木信綱・コンピュータ・飛行機・電気？ 正解は鈴鹿市なんです、子どもの発想は面白いと見ていて思いました。なかには【のびゆくすずか】(小学校3・4年生が使用する副読本)を見て覚えていた！ と、鈴鹿市と正解を発言する子がいました。副読本に鈴鹿市の戦争に関係するページが増えてきており、授業に取り入れることで平和学習へと、つながれば良いなと考えていました。(文責: 桐生 小百合)



## 石薬師小学校 5 年児童の感想から

- ◇すずかに、りくぐんとかいぐんが、いっぱいあることに、おどろきました。とても、こわかったです。
- ◆いっかしょに、きゅっとあつまっていることを、ふしぎに思いました。いっかしょにあつまっていると、一つのばくだんで、いっぺんにやられてしまうと、かんがえられるから、私だったら、ばらばらにすると考えたからです。
- ◇石薬師に、こんな物があるなんて知らなかった。せんそうのおそろしさを、このお話を聞いて、ぼくたちが大人になったら、伝えていこうと思った。
- ◆鈴鹿市に、思っていたより海軍や陸軍があつて、びっくりしました。身近なところにも、戦争の時の建物があることを、はじめて知りました。
- ◇ぼくの家がちかくに、前から気になってた、円みたいなコンクリートがあり、何かなあと考えてました。でもきょう、正体がわかりました。
- ◆ぼくの家は、陸軍第一気象連隊のあと地にたっています。登校の時に、気象連隊の記念ひの前を通るので、自分のみぢかなところに戦争のこんせきがあることを、あらためて知ることができました。

## 先生たちが旧陸軍関係の遺跡を見学

鈴鹿市教育研究会・平和教育班の教員約 10 人が7月 26 日、当会会員の戦争遺跡研究者、岩脇 彰 さんの案内で、旧陸軍関係の戦争遺跡を見学した。6 月 7 日、玉垣地区にある旧海軍遺跡の見学に続いて2回目。

旧陸軍関係の軍事施設は鈴鹿川の北側一帯にあった。加佐登小学校に集合して出発。現在の白鳥レイクタウン周辺に陸軍第一航空軍教育隊があり、まず畑の中にまだ残っている弾薬庫跡を見た。続いて石薬師町の陸軍第一気象連隊の跡、北伊勢陸軍飛行場の、移築して公民館に使っている兵舎、亀山市立川崎小学校の正門になっている兵舎の正門跡などを回り、国の登録文化財になっている鈴鹿市三畑町のコンクリート製掩体で締めくくった。

初めて見学する先生も多く、近くの小学校の先生は子どもたちの見学に生かしたいと話していた。

(文責：竹内 宏行)





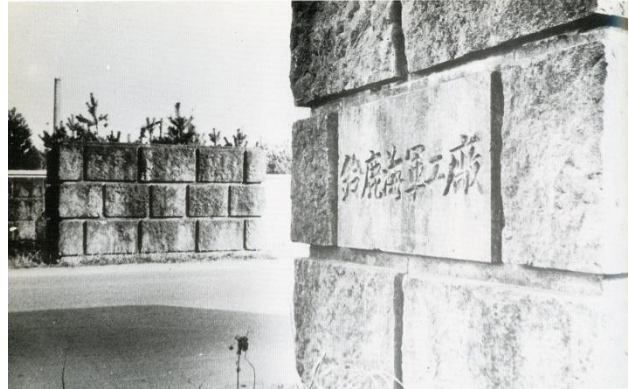
## 鈴鹿海軍工廠の正門銘板

### ○移築された正門の銘板

鈴鹿海軍工廠の正門は、現在の中央道路とサーキット道路が交差する「共進一丁目」信号交差点にありました。

戦争の後、正門は消滅しましたが、銘板は保存され、鈴鹿市大池3丁目にある大池第三自治会会議所前に展示されています。

移築されてはいますが、数多く作られた軍事施設の正門銘板が残っているのは、鈴鹿市はもちろん三重県内でもこれ一つしかなく、大変貴重です。



正門と銘板（古写真 1946年撮影）

### ○銘板を守られた花井圭一さんのお話から

この銘板を守られたのは花井圭一さん（1916～2007）です。花井さんは鈴鹿海軍工廠で機銃部人事係を務められ、戦後は鈴鹿市役所、退職後は鈴鹿市立住吉公民館長をされていました。

1994年6月26日に住吉公民館で講演された記録が残っていますので抜粋します。

（前略）正門を壊すときに駐留軍が人夫を雇って壊したわけですが、その時私、たまたま市の用事で行ったわけですが、銘板がセメントだけのもろい銘板なんです。ところどころ欠けていまして、私人夫を監督している人に「私、市の者ですがこれをいただけませんか」といったら、「ああ、持っていってくれ」と、それを外してくれて、菰（原文ママ）に包んで持って帰ったんです。（中略）もし見つかったらえらいことなので、市役所の倉庫にしまっておいた。十年ぐらいたってから鈴鹿海軍工廠のOBが集まったとき、工廠の記念碑を作たらどうかという案が出されたので（中略）、（土地を）色々探したら大池三丁目の集会所のところに私有地がちょっと残っている。もともとそこも工廠の地内です。そこを提供してもらって記念碑を立てることになったんですが、さて立てるについては海軍工廠という名称の正門にあったやつがあるのか、あれ壊してしまったやろ、ということになったんですが、私も同席していましたので、実はあれは市役所にしまっていると申しまして、市長も喜んでくれて、早速それをはめこんで作ろうということになった。（後略）

出典：鈴鹿「戦争を聞く会」編『戦争・今・自分—鈴鹿が軍都であったころ—』自費出版1995年

花井さんに伺ったお話によると、銘板を薦（こも）に包んだのは、コンクリート製で大変もろく崩れやすかったので、壊れないようにするためだったそうです。危険を感じながら、もろくて重い銘板を薦に巻いて慎重に運ばれた様子が偲ばれます。

銘板が大池三丁目に飾られたのは1975年。花井さんのお話に出てくる鈴鹿市長は杉本龍造さん（在任1946年～1975年）と考えて間違いないでしょう。

その後、刻字がだんだん崩れてきたため、何度か改修され、現在はケースで囲われています。（文責：岩脇 彰）





# おしらせ

## いつでもどこでも個別に対応します ～戦争遺跡見学会～

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会では、会員及び一般の皆様にも市内にある戦争遺跡の見学会を随時開催しています。

- ① 徒歩または車をご用意ください。
- ② ご希望の戦争遺跡、集合する時間と場所を決めます。
- ③ 当会のガイドがご案内します。

参加される人数は何人でも構いません。お一人でも大丈夫です。学校やコミュニティ単位の学習にも対応します。

ご都合のよい日時でご相談下さい。ただし、当会のガイドが対応できない日もありますので、ご了承下さい。日程が重なったときは先着順に対応いたします。

申し込みは竹内（090-2772-1476 [ta818hi@mecha.ne.jp](mailto:ta818hi@mecha.ne.jp)）まで

当会の最新情報を事務局から会員の皆様にメール配信にてお送りします。会員の皆様には大変お手数をおかけしますが、上記 竹内のアドレスにメールアドレスをお知らせください。  
※頂いた情報は、本件の目的以外の利用は致しません。

当会のホームページ及び会報のQRコードを作成しました。  
お手持ちの携帯電話ならびにスマートフォンで下のQRコードを読み取ってください。



ホームページ



鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会



会報

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△

発行

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代表

竹内 宏行・中森 成行

〒510-0254 鈴鹿市寺家 1-2-47

電話 059-388-6508

Mail ta818hi@mecha.ne.jp

△▼△▼△▼▼△▼△▼△▼△▼△